



撮影協力／株式会社クリアテック 金型の検査・研磨を担当する今嶋麻美さん（21歳）「好奇心を持って取り組むと予想外の発見がある」ことが楽しいと語る。

## CONTENTS

**ものづくりの職場から** 「責任ある自由」の社風から生まれた世界初  
**株式会社クリアテック**

**この会社、あの技術** 薄さ1.5ミリ。常識を覆した「鋳物のフライパン」  
**錦見鋳造株式会社**

**E-TREND** 定年退職したベテラン技術者が支える「企業間マッチング」  
**株式会社ベンチャーラボ**

# E-LINK

思いと技術を未来へ繋ぐものづくり応援誌 Vol.5



(上)世界初の冷間鍛造ヘリカルギア。その鍛造技術はミクロンオーダーの精度を実現。(下)新卒者が会社見学に訪れる時期、「声を掛けやすいように」と、社員の机にはこのような名札が置かれている。



師匠と弟子。先輩と後輩。上司と部下……技能の伝承が問題化している今、あらためて職場の徒弟関係が見直され始めている。

しかし、そのような時代の流れを意に介することもなく、「責任ある自由」をモットーに掲げ、個々の意思やワークスタイルを尊重した職場づくりをしているのがクリアテックだ。

この会社には管理職がない。究極のフラットな組織である。それでも社内の統制はしっかりと取れている。職場の片隅に社員が集まり、製品の出来具合に関して議論している光景が当たり前のように見られる。女性エンジニアも男性エンジニアの輪の中に入り、積極的に発言をしている。「入社3年以内の離職者は1名」という抜群の定着率を誇るのも、こうした社風が大きく関係しているに違いない。

「自由」とは、ムダな垣根を取り払うこと。「責任」とは、自分で考えて結果を出すこと。上司と部下や事業部間に横たわる余計な垣根がなくなれば、自然と社員同士の交流が生まれる。自分で考えて結果を得ることは、エンジニアにとってもっとも大きな醍醐味だ。つまり、クリアテックが掲げる「自由と責任」は、

特別に変わったことをしているわけではない。エンジニアが働きやすい職場を追求した結果、こうなった。

それまで切削加工でしか実現不可能と言われていた変速機用のヘリカルギアを、同社は冷間鍛造で製造することに成功。世界初のこの技術も、自由な社風と個の「絶対に成し遂げる」という情熱から生まれたものだ。

また、クリアテックでは、採用シーズンになると、新卒者向けの会社見学のために社内を開放している。立ち入り禁止の場所は作らない。すべての社員に声を掛けることができ、自由に会話することができる。ここにも「垣根」はない。

責任ある自由のもとで、多くの若手エンジニアがものづくりの喜びに目覚める。技能の伝承は大切だ。ただそれが押しつけになってはいないだろうか。一人ひとりが楽しさや厳しさ、やりがいに「目覚める」こそが、ものづくりの職場において最も大切なことなのかもしれない。

## 管理職なし。 自由な社風の中で ものづくりを。

株式会社クリアテック



### ●株式会社クリアテック

事業内容／冷間・温間鍛造金型の設計・製作・販売 従業員数／30名 創業／1986年 所在地／静岡県磐田市竜洋中島1512

## 究極の鉄鋳物。 魔法のフライパン。

——錦見鋳造株式会社

「鉄ではなく、鉄鋳物でフライパンを作る」。錦見泰郎さんがこの常識破りに挑んだのは92年のこと。それまでは機械部品の製造を手掛けていたが、度重なるコスト削減の要求に「下請けではない仕事をしよう」と始めたのがきっかけだった。

鉄板と比べて、鋳物はどうしても重くなる。主婦でも簡単に扱える重さのフライパンにするには、鋳物を究極に薄くしなければならない。鋳物は鉄を鋳型に流し込んで造るため、ただでさえ薄くするのは難しい。「均一に鉄を流し込むには?」「薄くても強度や硬度が保てる材質の配合は?」。錦見さんの試行錯誤は10年近くも続いた。

01年、ようやく念願のフライパン

が完成。薄さわずか1.5ミリ。鋳物だから焦げ付きにくく、熱が均等に素早く通るため、調理も早くうまみを逃がさない。「魔法のフライパン」と名付けられた製品は、瞬く間に口コミで主婦の間に広まり、数々のマスコミに取り上げられた。

現在では、注文から完成まで3年近くの待ちが出るほどの人気商品に。鋳物職人の執念が「魔法」を「現実のもの」とした。



### ●錦見鋳造株式会社

事業内容／「魔法のフライパン」の企画・製造・販売 従業員数／8名 創業／1960年 所在地／三重県桑名郡木曽岬町大字栄262番地

### E-LINK onlineもチェック!

「開発ストーリーを追え」で、『魔法のフライパン』の開発物語を紹介。ぜひご覧ください。

# 企業と企業の交流が、 中小企業を強くする。



## ●株式会社ベンチャーラボ

事業内容／企業力格付評価、知的財産活動支援等 創業／1999年3月  
浜松支社所在地／浜松市中区東伊場2-7-1  
浜松商工会議所会館8階

ベンチャーラボは、豊富な知識と経験を有する企業OBを有して「企業力格付評価」「知財マネジメント」等、各種技術支援やコーディネート・仲介を手掛ける企業である。

同社の浜松支社が浜松市の委託を受け、4年前からスタートさせているのが「ビジネスマッチング事業」だ。製造業を中心とした浜松市内の中小企業を対象に、マッチングコーディネーターが技術や製品に関する事業展開をサポート。最適だと思われるビジネスパートナーを紹介し、新製品開発や販路拡大などにつなげてもらおうという取り組みだ。こ

れまでに1000社以上の中小企業をサポートし、新しいビジネスの芽の発掘に貢献している。

「今日は忙しくても、明日はどうなるかわからない。そのためにも常に新しいテーマを開拓していくことが大切」と浜松支社長の中村穰治氏（写真上）は言う。大手電器メーカーで電気・電子系エンジニアから経営まで40年近く幅広いキャリアを持つ氏は定年退職後、ベンチャーラボで中小企業支援を続けている。

「今は、技術を伝承していくだけではいけない。時代に合わせて『変化』『転換』させていかなければ」。

こう語るのは、製造部門エンジニアとして30年以上の経験を積み重ねてきた宮武哲氏（写真下）だ。

浜松地区は、ものづくりの盛んなエリアであり、独自技術を持つ中小企業も数多い。「その技術は、この分野でも活かせる」「この技術と、あの技術を組み合わせてみよう」。企業OBたちは今日も中小企業に足を運び、ものづくりの現場をその「目」で確かめ、アドバイスをおくる。

企業と企業の交流が生み出す、未来への技術の可能性。これから先、浜松の中小企業からどんな新技术が生まれてくるのだろうか。



## E-LINKのWeb版「E-LINK online」でもさまざまな情報を発信しています。本誌とあわせてご覧ください。

【ものづくり企業・新世代の経営戦略】「かつて類を見ない、“コンクリート屋”を創造し続ける」 立基建材工業株式会社・岸上昌史さん  
【表紙インタビュー・20代の肖像】「わからないことでも実際に触れてみると興味が広がる」 株式会社クリアテック・今嶋麻美さん  
【開発ストーリーを追え!】「不可能な薄さを可能にした“魔法のフライパン”」 錦見鋳造株式会社  
【企業マッチング】「中小企業に必要なのは“転換力”」 株式会社ベンチャーラボ

●上記の最新記事のほか、E-LINKのバックナンバーや各種セミナーなどの情報がご覧になれます。<http://www.k-ktec.co.jp/elink/>

発行／ケーテック株式会社 所在地／〒431-0451 静岡県湖西市白須賀3985-2716 連絡先／電話：053-577-2002(代) E-mail: elink@k-ktec.co.jp

発行日／隔月1日発行(次号は11月1日予定です)